

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
解剖学1							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名	実務経験			
柔道整復学科・昼間部	1年	前期	亀谷 文人				
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門基礎分野	人体の構造と機能			座学	2	21	
科目概要							
人体の構造・機能に関する知識を身に付ける。 解剖学的用語の理解と説明ができるようにする。 主に運動器系の筋の種類や構造の特徴、またその役割等を総合的に理解し、説明できるようにする。							
目標							
<b>一般目標(GIO)</b> 本講義を学習することで達成されるべき目標	この科目の目標は、筋の名称や特徴を細胞レベルまで理解したうえで記憶し、柔道整復理論をはじめ、整復技術や様々な疾患・損傷を学ぶ際に、より正しく深く理解することにあります。						
	<b>到達目標(SBO)</b> 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)						
・骨格筋(筋の形態と起始、停止)について、 ・骨格筋(筋の作用・補助装置・神経)について、 ・頭部の筋(表情筋、咀嚼筋)について、 ・頭部の筋(広頭筋、胸鎖乳突筋、前縦筋、後頸筋、頭部における三角)について、 ・胸部の筋(大・小胸筋、鎖骨下筋、前縦筋、外・内・最内肋間筋、横隔膜)について、 ・呼吸運動について、 ・腹部(腹直筋、錐体筋、外・内腹斜筋、腹横筋、腰方形筋、鼠径間)の筋について、 ・背部(浅背筋、深背筋第一層・二層)の筋について、 ・上肢(上肢帯、上腕、前腕、手)の筋について、 ・下肢(大腿帯、大腿、前脛、後脛、足)の筋について、 ・骨格に必要なる予備知識や技能							
随時学習する専門用語についてを、その都度知識として蓄積してください。							
教科書・参考書							
解剖学 改訂第2版							
受講上の注意							
周りの人に迷惑をかけないようにしてください。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (クイズ・チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	この科目のガイダンス・筋肉とは						
第2回	骨格筋の総論①			P70-76			
第3回	骨格筋の総論②			P70-76			
第4回	骨格筋の総論③			P70-76			
第5回	頭部の筋①			P78-79			
第6回	頭部の筋②・胸部の筋①			P79-82			
第7回	胸部の筋②・呼吸運動			P83-84			
第8回	腹部の筋			P85-88			
第9回	背部の筋			P88-92			
第10回	これまでの復習						
第11回	上肢の筋(上肢帯・上腕の筋)			P92-97			
第12回	上肢の筋(前腕の筋)			P97-102			
第13回	手の筋			P102-107			
第14回	下肢の筋 下肢帯の筋(内・外寛骨筋)			P107-109			
第15回	下肢の筋 大腿の筋(伸筋群)			P107-110			
第16回	下肢の筋 大腿の筋(内転筋群・屈筋群)			P107-111			
第17回	下肢の筋 下腿の筋			P107-112			
第18回	下肢の筋 足の筋			P107-113			
第19回	頭部の筋			P76-78			
第20回	定期試験						
第21回	振り返り						
実務経験と本講義との関連について							
スポーツ現場でのトレーナー業務。鍼灸師。							
メールアドレス							
kametani@nihonisen.ac.jp							